

一般社団法人日本樹木医会 熊本県支部 1月定例会

令和8年（2026年）1月24日（土） 15：00～17：00

会場：KKRホテル熊本（熊本国家公務員共済組合連合会）

科目名：「樹木医活動の現状と問題の共有について」 CPD:2単位(予定)

対象者：樹木医及び樹木医補

主催：（一社）日本樹木医会熊本県支部 共催：（一社）熊本県樹木医会

研修内容

「樹木医活動の現状と問題の共有について」 講師：水上樹木医

近年、樹木医活動の現状は多種多様化しております。倒木や落枝事例は増加し、それに加え今まで熊本県内ではあまり見られなかったフウノキギンバネスガや、キオビエダシャクといった害虫の発生、また記憶に新しいところだと熊本市の辛島交差点の街路樹のイチョウの樹液についての対応など。

行政や市民の樹木管理への関心は高まり、樹木医に求められる役割も変化し拡大しています。従来の診断や処置といった技術的対応に加え、学校への出前授業や行政や造園業者等に向けての研修会の講師派遣など、樹木医の業務はより多面的で継続的なものとなっております。

こうした現状を踏まえ、今回の研修では、熊本県における樹木医活動の現状を皆様に報告し、共有すべき課題について考える研修会を企画いたしました。皆様の経験やご意見を参考にして、今後の活動をより良いものにつなげていきたいと考えております。ぜひご参加ください。